



## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 8 日

上場会社名 西日本システム建設株式会社  
 コード番号 1933  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤星 敦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 森 豊 康  
 上場取引所 大証第二部・福証  
 URL <http://www.sysken.co.jp/>  
 TEL (096)373-0118

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	19,549	△4.8	272	△66.0	455	△54.2	273	△48.6
19年3月期第3四半期	20,544	3.7	800	△15.3	995	△10.7	531	△27.7
19年3月期	30,244		1,276		1,488		799	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	22	08	—	—
19年3月期第3四半期	42	94	—	—
19年3月期	64	59	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	18,005	7,639	42.4	617	27
19年3月期第3四半期	18,114	7,381	40.7	596	17
19年3月期	19,642	7,698	39.2	621	91

### 2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

平成 19 年 11 月 16 日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

**【定性的情報・財務諸表等】**

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における連結経営成績につきましては、ブロードバンドサービスの基盤となる光アクセス網の充実のための関連工事及び移動体工事が一服し、前年同四半期に比べ低調に推移したことにより、受注高は249億1千5百万円（前年同期比 95.3%）、売上高は195億4千9百万円（前年同期比 95.2%）となりました。

また、利益につきましては、売上高の減少等により経常利益は4億5千5百万円（前年同期比 45.8%）、四半期純利益は2億7千3百万円（前年同期比 51.4%）となりました。

なお、通期の業績につきましては、計画通り推移しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、未成工事支出金等が増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少等により前連結会計年度末に比べ16億3千6百万円減少し、180億5百万円となりました。負債につきましては、未成工事受入金が増加したものの、支払手形・工事未払金等の減少等により、前連結会計年度末に比べ、15億7千7百万円減少し、103億6千5百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の39.2%から42.4%となりました。

## 3. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準について簡便な方法を採用しております。

その他影響が僅少なものにつき、一部簡便な手続きを用いております。

## (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

従来、建物（建物附属設備を除く。）の減価償却方法について、定率法を採用していましたが、当連結会計年度から定額法に変更しております。

この変更は、事業所拡大による再投資を考慮し、投下資本の早期回収を図るために定率法を採用していたものの、事業所拡大も一巡し、設備投資が縮小する状況のもと、平成19年度の法人税法改正を契機として、建物の償却方法の見直しを行った結果、建物の大半を占める事業所は長期安定的に使用されており、設備の陳腐化のリスクも殆ど無く、また修繕費等の設備維持コストも長期安定的に発生することが見込まれることから、各期に減価償却費を均等に配分することにより、投下資本の平均的な回収を図るとともに、費用収益の対応をより適切に行うためのものであります。

この結果、前第3四半期連結会計期間と同一の基準によった場合に比べ、減価償却費は19百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は17百万円増加しております。

## 4. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期〕 第3四半期末	〔平成20年3月期〕 第3四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1 現金預金	1,014	1,352	337		1,094
2 受取手形・完成工事未収入金等	4,335	4,577	242		7,285
3 未成工事支出金	3,323	3,173	△149		2,192
4 その他	1,120	926	△194		915
流動資産合計	9,793	10,029	236	2.4	11,488
<b>II 固定資産</b>					
1 有形固定資産					
(1) 建物・構築物	1,081	1,185	104		1,075
(2) 土地	1,828	1,823	△4		1,828
(3) その他	257	175	△81		227
有形固定資産合計	3,167	3,185	18	0.6	3,131
2 無形固定資産	261	321	60	23.1	330
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	3,639	3,379	△259		3,697
(2) その他	1,252	1,088	△164		994
投資その他の資産合計	4,892	4,468	△423	△8.7	4,691
固定資産合計	8,321	7,975	△345	△4.2	8,153
資産合計	18,114	18,005	△108	△0.6	19,642

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第3四半期末	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第3四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1 支払手形・工事未払金等	3,167	2,845	△322		4,115
2 未成工事受入金	565	606	40		204
3 その他	4,195	4,397	202		4,918
流動負債合計	7,928	7,849	△79	△1.0	9,238
<b>II 固定負債</b>					
1 退職給付引当金	2,412	2,140	△271		2,335
2 その他	392	375	△16		369
固定負債合計	2,804	2,516	△288	△10.3	2,705
負債合計	10,732	10,365	△367	△3.4	11,943
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1 資本金	801	801	-		801
2 資本剰余金	560	560	-		560
3 利益剰余金	5,655	6,072	417		5,923
4 自己株式	△155	△158	△2		△157
株主資本合計	6,860	7,275	414	6.0	7,126
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1 その他有価証券評価差額金	521	364	△156		572
評価・換算差額等合計	521	364	△156	△30.0	572
純資産合計	7,381	7,639	258	3.5	7,698
負債、純資産合計	18,114	18,005	△108	△0.6	19,642

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	20,544	19,549	△995	△4.8	30,244
<b>II 売上原価</b>	18,230	17,720	△510	△2.8	26,939
売上総利益	2,314	1,829	△485	△21.0	3,305
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	1,513	1,556	43	2.8	2,029
営業利益	800	272	△528	△66.0	1,276
<b>IV 営業外収益</b>	218	215	△2	△1.3	249
<b>V 営業外費用</b>	23	32	8	37.1	37
経常利益	995	455	△539	△54.2	1,488
<b>VI 特別利益</b>	25	2	△23	△89.8	27
<b>VII 特別損失</b>	112	5	△107	△95.3	139
税金等調整前四半期(当期)純利益	908	453	△455	△50.1	1,376
税金費用	376	179	△196	△52.3	576
四半期(当期)純利益	531	273	△258	△48.6	799